

雑草退治は、まかせてくれ!

オモダカを始め、 SU抵抗性雑草、 難防除雑草に 優れた効果!!



オモダカ



クサネム



コナギ



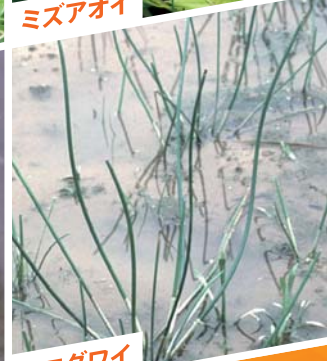
ミズアオイ



ホタルイ



ノビエ



クログワイ

ガムエード[®]フロアブル

水稲用初・中期一発処理除草剤

ピラクロニル 3.6%・ベンゾピシクロン 4.0%・ベンゾフェナップ 14.5%

水稲用初・中期一発処理除草剤

ガリユード

フロアブル

特長

- 1 ノビエを始めコナギ等の広葉及びカヤツリグサ科など幅広い雑草に高い効果を示す。
- 2 SU抵抗性雑草、難防除雑草に対しても、幅広く高い効果を示す。
- 3 特にオモダカに対して優れた抑制効果を示す。
- 4 田植同時処理も可能です。
- 5 効果の発現が非常に速い。
- 6 温度による効果の変動が少ない。

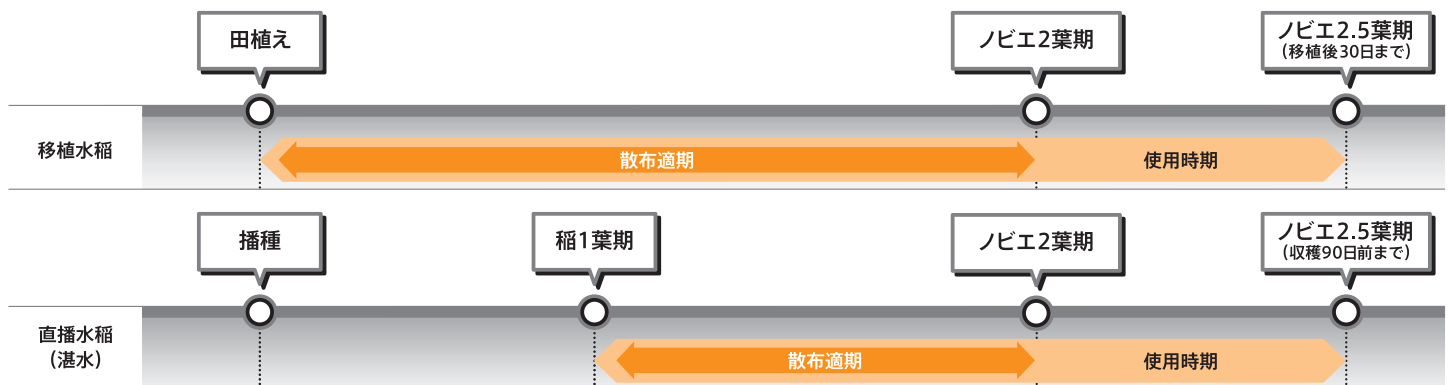
適用雑草の範囲及び使用方法

●有効成分(一般名)ピラクロニル:3.6% ベンゾピシクロン:4.0% ベンゾフェナップ:14.5% ●人畜毒性:普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	総使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、 ヒルムシロ、ミズガヤツリ、 ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ エゾノサヤヌカグサ、コウキヤガラ、シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500mℓ/10a	本剤:1回 ピラクロニル剤: 2回以内 ベンゾピシクロン剤: 2回以内	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、移植後30日まで			原液湛水散布 又は水口施用
直播水稲	水田一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ ヒルムシロ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ	湛水直播の 稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、収穫90日前まで		ベンゾフェナップ剤: 2回以内	原液湛水散布

*本剤及びそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示す。

上手な使い方



⚠ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果がふれが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ミズガヤツリは移植水稲では3葉期まで、直播水稲では2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のもので十分な効果を示さない場合がありますので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。シズイは、必要に応じて有効な後処理剤または後処理剤と組み合わせで使用してください。
- 下記のような条件では、初期の生育抑制やクロロシスを生じる恐れがあるので、使用を避けてください。特に、これらの条件が重なる場合は、初期生育が著しく抑制されるので注意してください。
 - ① 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温が予想される時
 - ② 活着遅延を生じるような異常低温の時
 - ③ 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深2cm/日以上)
 - ④ 軟弱な苗を移植した水田
 - ⑤ 極端な浅植または極端な深水になった水田
 - ⑥ 植え穴の戻りが悪い水田
- 水の出入りを止めて湛水状態で水田全面にゆきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないでください。また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟な有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 稲の根が露出する条件下では葉害を生じる恐れがあるので使用しないでください。
- 本剤は、その殺草特性から、いくさ、れんこん、くわいなどの生育を阻害する恐れがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は、十分注意すること。
- 稲体に多量に付着すると葉害が生じる恐れがあるので、稲体に重複してかからないよう注意してください。
- いくさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤散布後の田面水を他作物に灌水しないでください。
- 容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動物(魚類)に影響を及ぼす恐れがあるので養魚田では使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で子供の手の届かない場所に密栓して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

OAT アグリオ株式会社
<http://www.oat-agrio.co.jp/>
 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-3-1

コールセンター: ☎ 0120-210-928 (9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝日をのぞく)